

令和4年第13回教育委員会会議録

日時：令和4年12月16日（金）

午前10時開会

場所：教育委員会室

出席委員	委員	西口晶子
	委員	滝澤多佳子
	委員	富田昌平
	委員	田村学

出席者	教育長	森昌彦
	教育次長	小宮伸介
	学校教育・人権教育担当理事	伊藤雅子
	教育事務調整担当参事（兼）	
	教育事務所調整担当参事・教育総務課長	家城 覚
	教育推進担当参事（兼）学校教育課長	松本 幸也
	学校教育課幼児教育課程担当副参事	村木 美智子

教育長 令和4年第13回教育委員会を開催します。本日の傍聴はございません。それでは、議案の概要説明をお願いします。

教育次長 本日の議案の概要でございますが、議案第42号津市教育委員会点検・評価について、議案第43号津市通学区域審議会委員の委嘱についての2件の議案について、ご審議をお願いします。詳しい内容につきましては、それぞれの担当課長から説明いたしますので、よろしくをお願いします。

教育長 本日の議案は、お手元の事項書のとおり、議案第42号及び議案第43号の議案2件です。

このうち、議案第42号、議案第43号につきましては、津市教育委員会会議規則第16条第1項第1号及び第4号の規定に該当するため、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員 (異議なし。)

教育長 それでは、議案第42号、議案第43号につきましては、非公開と決定します。

議案第42号 津市教育委員会点検・評価について

議案第42号 非公開で開催

議案第42号 修正可決

議案第43号 津市通学区域審議会委員の委嘱について

議案第43号 非公開で開催

議案第43号 原案可決

教育長 それでは議事に入ります。議案第42号 津市教育委員会点検・評価について事務局から説明をお願いします。

教育総務課長 はい。議案第42号 津市教育委員会点検・評価につきましてご説明を申し上げます。着座にて失礼させていただきます。本年8月26日に開催いたしました本委員会におきましても報告をさせて頂いたところでございますが、本点検・評価報告書につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づきまして、毎年その権限に属する事務の管理および執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないと義務付けられておりますことから、津市教育委員会におきましても、平成19年度分より作成をいたしまして、今回の対象年度令和3年度で15回目となります。それでは、点検・評価報告書に基づきましてご説明をさせていただきます。1ページをご覧ください。1.はじめにといたしまして、令和3年度の点検・評価にあたり、これまで津市教育委員会が展開してまいりました施策の概要について言及しております。8月開催の本委員会におきましても、この部分につきましては、ご指摘いただいた部分がございますので事務局の方で修正させて頂いております。続きまして2ページからでございますが、点検・評価報告書の実施に至った1.経過、それから2.目的といたしまして、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすことを目的とすることを表記しております。3.学識経験者の知見の活用でございますが、地教行法第26条第2項で教育委員会は点検及び評価を行うにあたり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとして規定されておりますことから、元津市立小学校長であります荻原くるみ様、元三重短期大学長で現在、津市男女共同参画審議会会長であります東福寺一郎様、現在、三重大学教育学部特任教授で津市文化振興審議会会長であります山田康彦様、以上3名の学識経験を有する方を選定させて頂きまして、10月27日及び11月10日に点検・評価説明会を開催しご意見を頂戴いたしました。その内容につきましては、この後簡単にご披露させていただきたいと思っております。3ページでございますが、4.点検評価の対象でございますが、教育振興ビジョンの各施策を対象とし、各所属が平成30年度から令和3年度までの具体的な取組内容、成果及び達成目標の令和3年度実績を確認し、それぞれ達成度を示して点検評価を行いました。その方法につきましては、5.点検評価の実施方法をご覧ください。具体的な取組内容や成果については、◎達成、○現状維持、△課題あり、×未達成の達成度で示し、目標値についてはA～Dの達成度で示す事といたしましたが、この部分につきましても、学識経験者の方からはより分かりやすい物にということでご意見頂きましたことで改善を図っております。4ページから59ペ

一頁に渡っては各所属が整理し、更に学識経験者の方々による評価を受けて一部修正を加えた内容でございます。学識経験者の方からいただいたご意見といたしましては、例えば、取組内容の成果と達成度になります。達成度とその下にございます施策の達成目標の実績と達成度。この部分の達成度との関係性がちょっと食い違ってるようなものが見受けられるので、その辺りの整合性を図っていただきたいという様なことでありますとか、達成度についての記述についてのご意見等頂きましたことからこれらを修正いたしました、また、教育振興ビジョンに沿って各事業の内容点検評価する形にしたことにつきましては、大変評価も頂いたところですが、一方で本委員会からも事務の執行に関する評価が必要ではとのご指摘を頂いておりましたことから、78ページでございますけれども、事業別の決算額を執行率も含めて、その理由と共に表記をさせて頂いております。それから最後になりますが、先程申し上げました学識経験者の方々の評価を交えたご意見につきましては、60ページから68ページにかけて掲載をさせて頂いております、頂戴しました主な評価の内容といたしましては、まず3人の学識経験者の方からはいずれも長引くコロナ禍のもと、教育委員会や学校が工夫をこらし、可能な限り予定されていた事業を進めて来たことについて評価を頂きました。一方コロナ禍で進んだタブレット端末の活用について、故障時の対応や予算措置、適切な事務局の人配置を求める意見でございますとか、学校運営協議会が全ての学校に設置された事を大変評価頂くと共に、地域住民と学校の連携強化を更に期待される意見、或いは今回から教育振興ビジョンに沿って各事業の内容を点検評価する形になり、各事業の達成度を図る指標が明記されたことについて改善が図られたと評価いただいた点等がございました。更に今回令和3年度の点検評価という事でございましたが、コロナ禍の現在の事業はその危機での臨時的な対応という姿勢で進められているけれども、今後の展望としましてコロナ感染がなくなることを前提にするのではなく、それを常に伴ってる社会、ウィズコロナを通常として想定し事業計画を計画していくことが求められるのではいかというようなご助言等を頂いております。以上のような改善点でございますとか、学識経験者のご意見等を合わせまして報告書として整理させて頂いて、本日の教育委員会で議決を頂きましたら市議会へ提出するとともに市のホームページへの掲載を行っていきたくと考えております。以上で説明を終わらせていただきます。ご審査の程宜しくお願い申し上げます。

教育長 説明は以上でございます。ご質問等ございませんでしょうか。

田村委員 先程の説明伺ってますと、評価委員の皆さんからも同様の指摘というか、修正をされたということですが、この取組内容の成果と達成度と、施策達

成目標の実績と達成度が同じような項目なんです、少し違和感の様なものが全般的にあったのですが、それはもうすでに評価をされた上で、これになっているということですか。

教育総務課長 はい、学識経験者の方からのご意見を頂戴した中に、上段の達成度の記述の中に課題があるとしながら、同じような内容の下段の達成度のところがA評価であったりとかいう部分についてご指摘を頂いたりしておりまして、その様な部分については整合性を図らせていただいた上で整理させて頂いております。

田村委員 私は、逆に取組内容の成果と達成度が「達成」とか「現状維持」になっているのに、目標の方ではCとかDとかがついているものがあるのがあって、コロナの関係で予定通り出来なかったっていうのはあるかも分からないのですが、出来たと言っているながら、目標に対してはD評価がついてるようなものがある、ちょっと違和感があったのですが。

教育総務課長 はい。確かにコロナが原因として達成に至らなかったような部分については、そのことを達成度の実績欄のところに記述するようにさせていただいています。

田村委員 例えば、15ページが目標に対しては全部「達成」か「現状維持」ですが、下のほうでは、「保護者に対して人権に関する授業を公開している学校の割合」の目標90%に対して実績が32.4%で「D」。後は、コロナの影響を受けて少なかったというふうに、ただ数字入れるだけではなく解説されてるところがあったのでそこは飛ばしたのですが、30ページの「教員1人あたりの研修講座の参加回数」が「D」で、29ページの「研修講座の充実」は「達成」。

学校教育・人権教育担当理事 はい。

教育長 はい、学校教育・人権教育担当理事。

学校教育・人権教育担当理事 はい。先程委員仰って頂きました。例えば、15ページの達成度のところですが、下段の人権の授業公開のところですが、先程仰って頂いた様にコロナ禍ということで、そもそもその公開した授業が出来なかったというところで、「公開授業をしている学校の割合」としていましたのでこの数字としては非常に低いものになっているのですが、ただ公開授業じゃな

い形で、例えば、便りで子ども達の授業発信をすとか、保護者の方にはそういった発信をしてきたのですが、この目標については、公開授業となっておりますので、数字は低くなっております。ですので現状維持という形で達成というところまでは中々行かないのですが、公開はしなかったのですがしっかりと子ども達のそういうふうな保護者への発信というので、便り等しながらやってきたというのが現状です。それから30ページの研修の方ですが、これは1人当たり2.0回の研修を受けるということで、28年に立てたときには、対面研修でずっとやっておりましたので2.0回という回数ですが、こちらの方も令和2年、令和3年と対面での研修、集合研修がほとんど中止になりまして、オンラインでの研修と、それからもう一つが※印で書いてあるのですが、そこへ集まってきていただく、またその日にzoomでする以外にオンデマンドという形でアップをしておいて、そこへ都合によってその動画を見に行くという形で、これが非常に効果的で先生たちからすると、その時間に時間を調整しなくても上げておいてあるものを自分の都合にあって見るという形で何度も見ていただいた方もありますし、そこが回数として1人当たりの回数として提示することをしておりませんので、回数的には下回っているのですが、そういう工夫により研修会の方は充実というところまでは行かないかもしれませんがもさせて頂いたというところではあります。

田村委員 はい。

教育長 はい、田村委員。

田村委員 そこは私も見せていただきました。29ページの2つ目のところには、寧ろオンデマンド型の研修を実施したということ的成果として評価することで達成になっている一方で、目標に対してはそれを省いて集計、多分数のとりようがないからかという事情があると思うのですが、結果Dになっているのが頑張っているのに残念だなという気がしましたので。

教育長 はい、他よろしいですか。

西口委員 はい。

教育長 はい、西口委員。

西口委員 田村委員が仰っていただいたことと同様のことを私も思いました。それが1点です。上の取組内容の達成度のところと下の目標のところとが合わな

い、例えば、5ページを見ると「達成」、「達成」、「達成」、「現状維持」となっていますがB評価であるとか、人権教育の15ページは仰っていただきましたが、「達成」、「現状維持」、「達成」、「現状維持」で達成度の評価が「C」と「D」となっているこの差をどう考えていくのかと。この目標だけを集めて提示するようなことがあったら、ここが目立つだろうと思いながらこの違いはどうなんだろう、いちいち説明して回れないのにということを思いました。それから、その上の方の達成度のところで、前回8月に出してもらったところから見ると、特に人権教育とか生涯教育のあたりで「課題あり」になっていたのが「現状維持」に、「現状維持」が「達成」に変わっているのは、それは精査をされた結果なのでしょうということですか。例えば、23ページの一つ目のところは「達成」になってますが、これは前回「課題あり」だったのが一気に「達成」までになっているので、その整理がされたのかということについて、前回からその中身が精査されて変わったのかどうかということを質問させてください。

教育長 はい、教育総務課長。

教育総務課長 一つはですね、3ページにございます点検評価の実施方法のところ「◎達成」、「○現状維持」、「△課題あり」とあるのですが、この辺りの評価の解釈というのがあまり細かく表記がされておりましたので、担当部局ごとにルールがバラバラというような指摘がございまして、そもそも「現状維持」であればどのように考えるのかというようなことをそこに記述させていただいております。そこで前年度水準を維持しているようなものや工夫や努力によって取組が進んだものについては、「現状維持」と評価するというような一定の基準を設けて改めさせていただきました関係で、それまで「課題あり」というふうに捉えておりましたものが「◎達成」になったりしたものはあるかとは思いますが。

学校教育・人権教育担当理事 はい。

教育長 学校教育・人権教育担当理事。

学校教育・人権教育担当理事 23ページの人権のところですが、これについては先程委員が仰っていただいたように「課題あり」に最初なっていたと。これはどういうことかと言いますと、人権教育課の方で話し合ったときに、そもそもこの年の大きな課題がつむぎを開室し、しっかりと就学前の日本語教室をやっというところを計画にしていたのですが、コロナでできなかったというところ

ころがありましたので、ここに焦点を当てて実施できなかったという評価をしていたのですが、そもそもこの受入体制整備の支援というところは、そこだけではなくて多くのそういった課題の中で取り組んでいるというところを、他の課のいろいろな事業と合わせまして、人権教育課の思いがありましたのでそういった形になったと思うのですが、「達成」ということとなっております。

西口委員 はい。

教育長 はい、西口委員。

西口委員 そのように整理されたということで理解させていただいた上で、例えば、46ページの放課後子供教室の設置の目標の実績のところ、令和4年度の目標は「なし」で、令和3年度の実績が「設置なし」で達成度が「B」というのは、これは「設置なし」ですが「B」なのでしょう、この評価の仕方で前回は「C」だったのですが、ここはどう解釈をしたらいいのでしょうか。

教育長 放課後子供教室は、例えば、放課後児童クラブとは違って、無いところには設置していこうということではなく、仮にその年がゼロであったとしても、それはできなかったということではないんです。例えば、高野尾であるとかいろいろなところに設置はしておりますけれども、そういうところで、やっぴいこうという希望があれば設置するというようなことなので。しかも、今までは学童がないところに作っていくということだったのですが、学童があってもいいのではないかということであるとか、逆に放課後子供教室が先にできた後に学童を作るとか上手くやってきたのですが、ただ子供教室については設置が有る無しということではないので、設置がなくても「現状維持」「B」になっています。だからできなかったのではない、つまり設置がないから概ね目標値を達成できるではなく、そもそも目標が作ることではない。つまり、必要があったら作る、要望があったら作るということがあるので、例えば、設置がなかったとしても、達成度としては「A」とつけることはちょっと難しいかと思うのですが、そもそも目標値ということでいったら「C」ではないという評価と思っております。

教育次長 「C」から「B」へ変わったというところは承知しておりませんでした。目標値が設置していないというところは、今教育長が述べたようなことと思いますが、「C」から「B」への変更は、先程申し上げた3ページのところを明確にした結果であると思います。

事務局 よろしいですか。「C」から「B」へ上げたのは、高野尾地区で令和4年度の開設に向けて動きはあったので、何もないわけではなく動いているところを評価していただいて、「B」ではないのかということで一段上げさせていただいております。

滝澤委員 説明を聞かないと何で「B」になったのかとか、「◎達成」なのに「C」や「D」があるとか、一般の方が見るとこうやって比較するとすごく分かりにくいと思います。だから、どういうふうに説明したらいいのかというところをもう一工夫必要ではないでしょうか。例えば、子供教室の設置だけではなく設置に向けた話し合いとか対応とか、何か目標自体が非常に厳しいというか。達成度が設置が無いのに「B」というのは、どうしても違和感あるのでこの目標の作り方とか、目標の評価の仕方をもう一工夫する必要があるのではないかという気がします。コロナで「C」や「B」になって、研修会が開かれなかったというのは分かるのですが、時々それ以外に違和感のある表現があって、やはりそれはもう一段の工夫というか、目標設置の評価とか、目標設置自体についてそれで良いのかというのも検討課題かなと思います。

富田委員 はい。

教育長 はい、富田委員。

富田委員 先程の放課後子ども教室の件でいうと、この評価の対象になる実績そのものが存在していないので、評価をつけないということであれば、横棒を引くとか、そういうのが相応しいと思います。あと評価の仕方に関しても、この上の段の「取組内容・成果と達成度」と下段の「施策達成目標の実績と達成度」というのが、それぞれ異なる評価の仕方ですよね。今後「A、B、C、D」のような表記に整えた方がいいのではないかという気がします。というのも、「現状維持」という表現は、おそらく多くの人の聞き方によっては、成長が止まっているというように感じられるので、ネガティブな評価になっています。でも、実際には成長した状態を維持しているということなので、本来は高く評価すべきことですが、印象としてはネガティブな印象を与えてしまうので、「現状維持」は、本来これは「A、B、C、D」の評価だったら「A」としてもいいようなものだったりすると思います。僕も大学の方でこういう評価に関わってますけど、「現状維持」であった場合にはA評価っていうことに大抵していますから、そういう意味では、この辺は今後「A、B、C、D」とかに評価を整えるというのもありうるのかなと思います。あともう一点なんですけど、上段の「取組内容・成果と達

成度」というのと下段のものというのは、上段がこの分野、この項目の総合的な事柄について書かれていて、下段にあるものはその中からいくつかのトピックスを抜き出して評価したところだと思いますので、同列に書いてしまうと要するに、これ左寄せで字送りのところが全く一緒な状態になっていますので、何か同格の評価の対象なのかなと錯覚を与えますが、実際には、大きな上段のカテゴリの中の小さなカテゴリという下位カテゴリなんです。だから下位カテゴリらしく1字2字右に寄せた感じで、その上段の大きなカテゴリに含まれる小さなトピックスを評価しているように視覚的に分かるような表現にした方が良いのではないかと思います。

教育総務課長 はい。

教育長 はい、教育総務課長。

教育総務課長 ありがとうございます。点検評価も公表を目的とするものがございますので、ご覧いただいた方から見て正しく理解ができるかどうかという視点も踏まえた上で、いろいろ御意見頂いた内容の部分であるとか視覚的な工夫というような部分も含めまして、今後検討して参りたいと思います。

教育長 はい。他よろしいですか。

滝澤委員 はい。

教育長 はい、滝澤委員。

滝澤委員 それから評価をしていただいた中で、今後こういう風にしていただきたいみたいなのがありますよね、例えば、山田先生の68ページのところが、上から3行目位の中で、「特に重点となり詳細な内容を示すことが求められる項目があるが、必要に応じて、補足の資料等を追加していただきたい」ですね、少し工夫が必要だというようなご指摘があるように思いますので、その辺りも踏まえて、今後はより分かり易い評価、計画にしていきたいと思います。

教育長 よろしいですか。最後の事業別決算額というのがひとつの大きな部分だと思っていて、今回この評価に大改訂をしていただいている、この決算額を入れたというのは、そういった指摘に基づいたものなのかなとは一つ思っていることと、結局その中身の「取組内容・成果と達成度」と「施策達成目標の実績と

達成度」というのは、これは教育振興ビジョンに載っているところなので、今後のことを考えると教育振興ビジョンを作成するときに、この施策達成目標をどういったものにするかというこれを決めるのは非常に難しく、今回後期計画を作っていくにあたって非常に難しく、どういったものを達成の目標にするかということに随分議論をしました。これは前期の目標ですが、この振興ビジョンの中での目標に何をするかというのを選ぶのですが、この前期の目標は、若干その今言われた意見を聞くと、少しずれている部分もあると。なので、「成果と達成度」は、その中身に沿って書いてありますが、その下の「施策達成目標の実績と達成度」の中身が少しずれている感があるので、今、富田委員が言われたようなことが起こっている、どういうことを「施策達成目標の実績と達成度」の実績達成目標の取組内容とするかという辺りを、もう一度改めて後期においてもこれでよかったのかと見ないといけないかも分かりませんが、その辺りが問われてくるので、後期がどうかというのを見てみる必要があるかなとは思いますが、そういうビジョンそのものに課題があるので、いざこの点検評価で今こうやってした時に、ずれが出てきているのかなと思いますので、ビジョンと連動している部分なので、今後またしっかりと考えていかない部分かなと思っています。

教育長 はい西口委員。

西口委員 今教育長おっしゃっていただいたのですが、本当にビジョンを作る時は、どうしてもこの最後がメインになってきていて、これだけの評価したらそのこの施策は OK ですというような流れからスタートしていました。むしろ今回これが出てきたということは、この内容までしっかりと皆さんが点検に持っていけたと考えると、ものすごく教育委員会としてそれぞれの施策をきちんとみてきたという成果の現れだと思います。で、今後この内容がここへ映るかというところの今後の精査ということですので、本当にこの目標でよかったのかということ、いつも問うていかないといけないと思います。ですので、今更次のビジョンが直るのかどうか分かりませんが、上をもう少し簡略化していくというのも一つなので、でもこれだけ書いていくということは、次に繋がっていきますから、これはこれで残してもらって今後ここをどうしていくかですが、昔は下がメインでしたので、それを踏まえうえで過渡期だと思って少し考えて貰ったらどうでしょうか。

教育長 はい、田村委員。

田村委員 同感です。後期の議論の中でも、その目標の設定の仕方は大分こだわっているいろいろな意見を言わせていただいたと思うのですが、その分かり易さと後で実際評価をするときに困らないかということが頭にあります。既に現行のビジョンの中でも設定されているものは変わりようがないですが、先程西口委員が言われた46ページのこの施策達成目標については、これの象徴的なものだと思うのですが、こんな感覚によって何とでもなりますよね。後期はちょうどパブリックコメントがあったと思いますが、最終ここまで来ていたら今更触るわけにはいけないと思うのですが、後で評価を実際にやる段階になって、しまったと思うような項目が無ければ良いかなというふうに思うので。自分の経験でもそうなのですが、作っている時は中々そこまで意識がいかなくて、運用が始まってからいざ評価をしようとする、こんな設定目標になんてしてしまったのかということが自分も経験があるので、如何に説明していくかはやっぱりあると思います。

教育長 はい、小宮教育次長

教育次長 ちなみに、46ページの子ども教室の設置は、後期には目標数値には置いていません。子ども教室という前期は大きなカテゴリがあったのですが、ひっくるめて児童数の受け入れということでクラブと子ども教室を一緒に考える形にしました。

教育長 この子ども教室の「設置なし」、「設置なし」はどうかと思うのですが、ここは「一」にしておいて達成度Bで、そこは少しご意見いただいてどうするかを。

教育長 はい。西口委員

西口委員 61ページの下から3段落目ですが、そこに荻原委員の方から、「少しでも教員不足を補えるような取組が実施されることを期待しています。」と書かれているのですが、まず津市で教員が不足している数の実態、それからこういうことが本当に実態としてあるのかどうか、そして教員不足を補えるような取組というような書き方で良いのかどうかということが凄く気になっていて、教員は教員として数が足りていて、その他の充実した教育活動を達成するためにいろんな方に来ていただくという捉えなのですが、ここについてちょっと引っかかったのですが、大丈夫でしょうか。

教育長 はい、松本学校教育課長。

学校教育課長 教員不足と言うよりも教員定数自体は足りているのですが、実際には教師の病休補充であるとか産育休補充であるとか休まれる先生方の代わりの講師が不足しているというのが、教員不足という現場からの声に近いというご意見だとは思いますが。ただそのことについても十分ご理解していただいた上で、教員の免許更新の廃止であるとかそういったことも活用しながら声を掛けているということについては、一定のご理解をいただいた上でのご意見であると思っています。

西口委員 はい。

教育長 はい、西口委員。

西口委員 やはり教員の定数を、教員の穴が空かないようにきちんと補充した上で、その上でという風にやっぱりこちらも努力をしていかなければならないと思いますのでよろしく願いいたします。

教育長 はい。他よろしいですか。いろんな適切なお意見を頂きました。ビジョンと非常に関連しているので、それぞれに関連付けて考えられると思います。ビジョン等考えていく時には当然関連付けて考えるし、この点検評価についても当然教育ビジョンを基本にということなので、方向としては非常に分かり易い方向ではあるとは思いますが、言っていたことをどう活かしていくかということが大切だと思います。承認についてはどうでしょうか。今言っていた46ページの部分については、若干修正するのかそれともこのままでいくのかその辺りの見解はどうされますか。

教育次長 46ページ今ご意見いただいた、実績の欄令和3年度の「設置なし」のところを実際なかったのですが、目標設定がない中でこれを「—」ということでのご意見でよろしかったでしょうか。

教育長 目標が「—」で、達成度はどうなのという数字ではおかしいので、現状と実績はいいとしても目標が「—」なら達成度も「—」ではないかと思えます。目標があるのなら当然その達成度も分かるのですが、目標がないのに何の達成なのか、だからさっき言ったのはそこです。設置しないとイケないものではないので、「—」なのかなと思っていたので、ご指摘される通りだと思いますけど。そ

ういうことを含めて修正を入れてということで良いですか。

教育次長 はい。

田村委員 はい。

教育長 はい、田村委員

田村委員 もう一つ大きな話で気になったのがなぜ今の時期なのか。これ令和3年度の評価で、もう令和4年度の終わりですから、例えば、この目標の状況を見て、せめて来年度予算の方に何か反映させるような必要のある結果が出てきたときに難しい時期になっていますよね。だから大変だとは思いますがもう少し早めに前年度の評価をして、1年間開くけれども次年度予算に反映されないとこれ2年間開くことになりますので、予算を考えるとその辺りが今後の為に考えていただけたらなと思います。

教育長 はい、他どうでしょうか。宜しいですか。それでは議案第42号につきましては一部修正を加えていただき、承認ということとしてよろしいでしょうか。

各委員 (異議なし。)

教育長 御異議なきようですので、議案第42号について承認いたします。

次に議案第43号 津市通学区域審議会委員の委嘱について事務局から説明をお願いします。はい、学校教育課長

【非公開】

学校教育課長 説明

各委員 質疑

学校教育課長 説明

教育長 以上で、本日の案件は全て終了いたしました。他何かございませんか。よろしいですか。はい。それでは無いようですので、これをもちまして、第13回教育委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

